

平成21年4月14日  
受信環境クリーン中央協議会

## 電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人4件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：岡井 元 財団法人電気通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月16日（木）午後5時15分から霞ヶ関ビル33階東海大学校友会館「朝日・東海の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
たぐち のぶお 田口 信夫	イスマ設備設計株式会社	昭和63年落合防災(株)入社以来現在に至るまで、建造物によるテレビ受信障害予測調査及び受信障害解消業務等に一贯して携わる。平成15年より(社)日本CATV技術協会調査部会幹事として、「地上デジタル放送による建造物受信障害改善効果に関する調査研究委員」「地上デジタル放送における安定受信範囲検討委員」等を歴任し、地上デジタル放送開始に向け各種マニュアルの作成作業に貢献するとともに、各地方支部会員への技術講習会講師としてテレビ受信技術の研究、周知に指導的な役割を果たした。また、テレビ電波障害解消技術普及について、関係団体への広報活動に積極的に参加し、調査技術の普及に広範な活動を行った。
せき よしのり 関 義則	団体役員	昭和47年に(社)日本アマチュア無線連盟千葉県支部役員に就任し、以降、昭和49年7月から昭和54年3月までの間は同県の監査指導委員会委員、同年4月から平成5年3月までの間は同県の監査指導委員長として、主として千葉県内のアマチュア無線局が起因するテレビジョン放送若しくはラジオ放送受信機への電波障害解消の技術指導等を、関東総合通信局（以前は、関東電波監理局）及び放送の受信障害対策に係る諸団体と一致協力しながら、電波障害防止活動に尽力するとともに、不法・違法無線局の対策強化を徹底して、電波法令違反行為を未然に防止し、無線局の適正な運用確保を図るための対策指導等を積極的に行ってきた。また、平成5年4月から平成20年5月までの15年間は、(社)日本アマチュア無線連盟の関東地方本部監査長として、関東管内の約100名にも上る監査指導委員を取りまとめて、献身的な指導・助言等を行うとともに、「受信環境クリーン月間」等における啓蒙活動を積極的に行うほか、千葉県電波障害防止協議会及び関東電波障害防止協議会の活動にも大きく貢献した。

しょうじ ふみお 庄司 文雄	東日本旅客鉄道（株）仙台支社設備部信号通信課	昭和55年から現在に至る約30年間、輸送を管理する司令員と列車の乗務員との連絡手段である列車無線をはじめとして、仙台支社管内に数多く導入している無線設備の維持管理業務に携わり、社員の育成や工事会社への技術指導にも尽力することで、沿線で発生した電波混信の原因調査及び混信防止に向けた送受信環境の改善を行い、適正な無線設備の保守管理に大きく寄与した。また、新幹線の高架橋等が原因となるテレビ受信障害の対策については、昭和57年の東北新幹線大宮開業から長期にわたり沿線住民に誠意を持って取り組んできた。平成23年7月24日の地上デジタル放送完全移行に対しても、地上デジタル放送視聴に関する沿線住民への説明や受信障害の積極的な解消に貢献した。
みやはら や たろう 宮原 弥太郎	元・NHK職員 （前（財）NHKエンジニアリングサービス）	昭和61年から平成20年まで財団法人NHKエンジニアリングサービスにおいて、首都高速道路板橋足立線、中央環状新宿線、高速大宮線など昭和60年代からほとんどの首都高速道路によるテレビ受信障害の障害調査予測業務を推進した。また、外郭環状線、圏央道の調査予測業務及び対策コンサルタント業務に従事し、広域における円滑な対策を促進した。その他、新東京国際空港関係によるテレビ受信障害の実情調査及び対策基礎調査や、都市再生機構の大型建造物によるテレビ受信障害予測業務にも従事した。高架高速道路などの特殊な建造物において、事業者側への的確な指導・アドバイスにより円滑な電波障害対策を促進した功績は、類まれなものがあり、長年にわたる電波障害防止活動への貢献とともに賞賛に値する。

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で51回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局  
 （財団法人電気通信振興会内） 関  
 （電話03-3940-3955）